

第1672号 2025年1月20日

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！ 共産主義者同盟（統一委員会）

# 戦旗

発行所 戦旗社  
編集発行人 鹿島 昂  
東京都足立区綾瀬7-2-11  
電話 03 (6876) 6136  
郵便振替 00180-4-176133  
http://www.bund21.org  
今号6頁 200円  
年間購読料 (送料共)  
開封6,300円 密封7,000円

1~3面：第二論文（総括、方針、党建設）  
3面：共に闘う人々、団体からの二〇二五年年頭のメッセージ  
4面：農地を守り抜き空港反対闘う二〇二五年反対同盟あいさつ  
二〇二五年階級闘争に決起する委員会、戦線からのアピール

# 反戦闘争を全力で闘い 石破政権を打倒しよう

## 激化する排外主義を粉砕し

## 反帝国際連帯運動進めよう

二〇二五年の世界情勢の特徴は混沌と不安定化である。アメリカでは差別排外主義者であるトランプが大統領に就任する。日帝では改憲論者であり軍事拡大を指向する石破が政権をついた。そして韓国では尹錫悦大統領による戒厳令の発令とこれを粉砕した韓国民衆の闘いが爆発している。ロシアによるウクライナ侵略戦争は激化し、イスラエルによるパレスチナ人民の大虐殺など、戦火と人民の犠牲が拡大している。

東アジアにおいては日米帝国主義による対中国軍事包囲がますます強化され、琉球を最前線にした侵略反革命戦争体制づくりが進行している。二〇二五年はまさにアジア人民と連帯した反戦闘争の高揚が求められている。

反帝国際主義・プロレタリア国際主義に立脚し、全世界で立ち上がる労働者階級人民と共に、国際反戦闘争に立ち上がるのではない。差別排外主義と対決し、ますます侵略反革命戦争体制づくりのめり込む石破政権を打倒する全人民的政治闘争の前進をかちとろう。本稿において、われわれ共産主義者同盟（統一委員会）の昨二〇二四年の闘いの総括と二〇二五年の方針について提起する。

### 二〇二四年の闘いの総括

共産主義者同盟（統一委員会）として昨二〇二四年の闘いの総括を確認する。第一にわれわれは反戦・反改憲の闘いを全人民的政治闘争として闘いぬいた。

第二にこうした反戦闘争の位置づけをもって、反基地闘争の推進を断固として推し進めた。岩国基地反対闘争をはじめとして反戦・反基地闘争を果敢に闘いぬいてきたのである。

岩国ではアジア共同行動が主催する「岩国行動2024」の成功をかちとってきた。岩国市民と結合した反戦・反基地闘争は、この当日にF35Cステルス戦闘機三五機が岩国基地に配備されたこともあり、デモ隊列には沿道からエールを送る人々もあつた。また地元マスコミにも取り上げられ、まさに岩国市民と結合した反基地闘争として「岩国行動2024」が成功した。地元住民の闘いとがっちり結合できたことに大きな意義がある。

これら反戦闘争でわれわれはアジア人民と連帯した闘いの意義を押し出し、も

み核燃料の中間貯蔵施設の建設策動を許さない闘いを、連帯の闘いを大衆的に闘っていった。この上関での中間貯蔵施設建設を阻止することは、関西電力による原発再稼働を阻止する闘いにとっても重要な課題である。

首都圏では経産省前テントひろばの座り込みを支援し、「さようなら原発」等の集会にも積極的に参加してきた。同時に東電前抗議行動等も貫徹してきた。三月二日を前後する福島県の闘いにも参加し福島県民とともに闘ってきた。さらにわれわれは国内の闘いだけではなく、汚染水海洋放出問題などを課題とする韓国の反原発運動と結合しながら、国際的な反原発闘争を推進してきた。

第五にわれわれはこれらの闘いを国際主義的に闘ってきた。アジア人民の闘いと実践的具体的な連帯を掲げる「アジア共同行動(AWW)」日本連絡会議」を支援し、ともに闘ってきた。それはまさに反帝国際共同闘争を貫徹する闘いである。

六月のアジア共同行動は首都圏、関西、九州、山口で大衆的に取り組まれた。さらに一月の韓国労働者大衆との闘争現場に積極的に関与し、まさにアジア人民との連帯を具体的な実践的に推進してきた。

われわれは二〇二三年、反対同盟農民市東孝雄さんの農地をめぐる闘いを実力闘争として闘いぬいた。そしてこの闘いの地平を引き継ぎ発展させる闘いとして二〇二四年の三里塚闘争に取り組んできた。南台の市東さんの農地をめぐる耕作

権裁判闘争は結審を迎え、判決が出されようとしている。われわれは南台農地をめぐる闘いを天神峰決戦の継承として闘いぬく。

第四に全人民的闘いの重要な領域として、反原発の闘いに取り組んできた。二〇二一年の福島原発事故と反原発運動の全国的な高揚を受け、いったんは日本をすべての原発がその稼働を停止した後、一二年七月に最初に再稼働されたのは関西電力が所有する福井県・若狭湾に面する大飯原発三号機であった。こうした政府・関西電力に対してこれを許さない闘いを推進してきた。「老朽原発うごかすな！実行委員会」による高浜現地全国集会、若狭大衆的に取り組まれた。さらに一月の韓国労働者大衆との闘争現場に積極的に関与し、まさにアジア人民との連帯を具体的な実践的に推進してきた。

第一には戦争が続く世界情勢のなかであるからこそ、国際主義を掲げた反戦闘争の爆発をかちとることである。同時に日米安保反対の闘いを推進していかねければならない。

ロシア・ウクライナ戦争、イスラエルによる中東・パレスチナ人民の虐殺が今も続いている。日本では自衛隊の統合作戦司令部が発足しようとしている。自衛隊の実戦部隊化、米帝との軍事一体化を許してはならない。多国籍軍事演習に反対していかう。対中国や対朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)を想定した日米、日米韓合同軍事演習

### 二〇二五年の政治方針

以上、二〇二四年の共産主義者同盟（統一委員会）の闘いの総括を確認したうえで、二〇二五年の政治方針を提起する。

### 反戦闘争

権打倒を鮮明にした反戦運動だ。

ロシア・ウクライナ戦争、即自の停戦、イスラエルによる中東・パレスチナ人民虐殺弾劾。米帝・日帝はイスラエルを支持する。さらに日帝の軍事拡大路線反対を掲げた反戦運動の断固たる推進。三月には自衛隊の統合作戦司令部が発足しようとしている。自衛隊の実戦部隊化、米帝との軍事一体化を許してはならない。多国籍軍事演習に反対していかう。対中国や対朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)を想定した日米、日米韓合同軍事演習

二面へつづく

一面から

訪米策動を日米安保強化反

訪米策動を日米安保強化反

改憲阻止

第二にそうした反戦運動

明文教憲の危機が切迫し

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

改憲を阻止するものは

建設を意味する。「能動的

この数字すら突破する

一方で戦時体制とは自

またこれ以外にも刑事

軍拡路線を推し進めよう

第三に石破政権打倒を

世界的不安定化の中で

その歴史に言え

去最大の防衛予算を八

また、改憲勢力の中

国内総生産比2%を

反原発闘争

第四に老朽原発の再稼働

二〇二一年の福島原発

二〇二四年一月一日に

またこれ以外にも刑事

軍拡路線を推し進めよう

第三に石破政権打倒を

世界的不安定化の中で

その歴史に言え

去最大の防衛予算を八

また、改憲勢力の中

階級闘争の

新たな構造の建設

次に二〇二五年の階級闘

この数年、急激な物価高

階級の労働運動の

この数年、急激な物価高

この数年、急激な物価高

この数年、急激な物価高

この数年、急激な物価高

この数年、急激な物価高

この数年、急激な物価高

被抑圧人民・被差別大衆の

解放闘争の推進

差別・排外主義勢力は公

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

この勝利的地平を受け

二面から

を推進していかねばならぬ。

重要な問題として浮上して来た。われわれはこれまで地帯の上、反戦・反核・反原発・被爆者解放を掲げた闘いのさらなる前進を勝ちとっていく。被爆者援護法にもつづく援護を求める被爆二世集団訴訟に勝利しよう。すべての被爆者、被爆二世・三世に対する国家補償を実現するために闘おう。被爆者、被爆二世・三世とともに、戦争に向かわんとする石破政権打倒の闘いを推し進める。

沖繩解放闘争は、「代執行」攻撃―大浦湾側の埋め立て工事の着工という状況下一層緊迫した局面に突入している。「台湾有事」論など排外主義煽動を粉砕し、全島的な闘いをさらに発展させていくために闘おう。昨年沖繩の女性を中心となつて米兵による性暴力事件を許さない闘いが爆発した。こうした闘いがつちりと結合した沖繩解放闘争を推進していかねばならぬ。

青年運動の推進

青年運動は入管法改悪反対の闘いや気候変動に関する取り組み、セクシャル・マイノリティに関する法規制に対して裁判闘争が行われ、勝利判決が積み重なっている。セクシャル・マイノリティの置かれている現実接近し、われわれ自身の取り組みを前進させ、闘いに立ち上がっている当事者とともに、あらゆる性差別・性暴力を許さない闘いを推進していく。

国際連帯闘争の推進

今、「台湾有事」が煽り立てられ、日米韓による三国軍事同盟化をはじめ日米帝が主導する集団的な安保体制の構築が進められている。多国間の軍事演習が頻りに行われている。まさに東アジアの闘いを支え、アジア各地の労働者人民と連帯し、反帝国際共同闘争の前進を勝ち取る。

左派共闘の前進

分断と対立が進む現代世界において、左翼が分裂し、闘争の戦場の再編を切り拓く左派共闘の前進を勝ち取るべきではないか。大胆な行動における一致を追求し、その過程での論争を積極的に組織していく。運動の結合は必然的に内容上の党派闘争を内包することになる。こうした党派闘争の論争を通じてわれわれの綱領路線の中心が検証されていく。左派共闘の推進をもち現代における共産主義運動を前進させよう。

共産主義運動の飛躍をかけて闘い抜こう

反戦闘争・反帝闘争を全力で遂行しその闘いをプロレタリア革命に向かって牽引するためには、革命的で階級的な党の建設が不可欠である。労働者階級、被爆者人民、被差別大衆と結びつてその先頭で切り拓く革命的労働者党建設を共に闘おう。

共に闘う人々、団体からの

二〇二五年年頭のメッセージ

「原発依存社会」への暴走を許すな

若狭の原発を考える会 木原壮林

自公政権は、いま、凋落の一途をたどる日本資本主義の救済と延命のために、原発依存社会への暴走、軍事大国化を進めています。人々の生活と生存を脅かしながら、原発産業、軍需産業などの大資本に膨大な電気料金や税金を垂れ流している。政府が、行き場として稼働

上ガリを組織してきた。イッてきた。反帝国主義、反戦の現場で常に青年がその最先頭で闘ってきた。あらためて、こうした青年層のエネルギーを政治闘争へと結集させていくべきではないか。 青年の労働組合への組織化を進め、階級的労働運動の担い手としての青年労働者の決起を実現していく。階級闘争の未来を担うべきは青年層であらゆる戦線・課題において押し広げよう。 この青年層の闘いと結びつき、推進しよう。そのなかから反帝国主義・プロレタリア国際主義に立脚した青年自身の運動と組織をつくろいだし発展させていかなければならない。歴史的にも青年の政治闘争への決起が政治的攻防の突破口になっていく。 青年の労働組合への組織化を進め、階級的労働運動の担い手としての青年労働者の決起を実現していく。階級闘争の未来を担うべきは青年層であらゆる戦線・課題において押し広げよう。 左派共闘の形成は日本帝国主義を打倒していくことの内実を実践的に作り出していく。全人民的政治闘争、反帝国主義闘争における実践を共通の基盤として、

労働者階級人民の闘う指針 戦旗 定期購読しよう! 年間購読料(送料共) 開封6,300円 密封7,000円 ※権力弾圧からの防衛のため、定期購読のお申し込みは、封書に住所、氏名を記載した紙を入れ、下記宛までお願いします。 〒120-0005 足立区綾瀬7-2-11 戦旗社

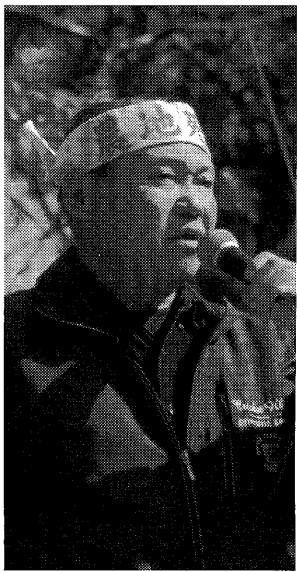
# 農地を守り抜き空港反対闘う

## 二〇二五年反対同盟あいさつ

### 農地は農民の命

#### 農民を犠牲にする政策は間違い

事務局員 「用地内」天神峰 市東孝雄さん



昨年二月の強制執行かでしたが、何とかやってきた、これまで、いろいろ大変です。空港会社が奪つ

た畑は、いまだに何にも使われていません。いやがらせだったのです。ひどすぎます。

南台の畑の耕作権裁判は、昨年結審しました。空港会社の難癖に対して、こちらの正当性を示すことができました。空港会社に正当性はありませんが、判決期日はまだ決まっています。判決がどうい内容になるかは分かりません。正直、期待はしていません。ですが、どんな判決が出ようと、立ち向かっていきます。今までと変わらず、頑張ります。

### 農業を守り

#### 戦争に反対する

事務局員 「用地内」東峰 萩原富夫さん



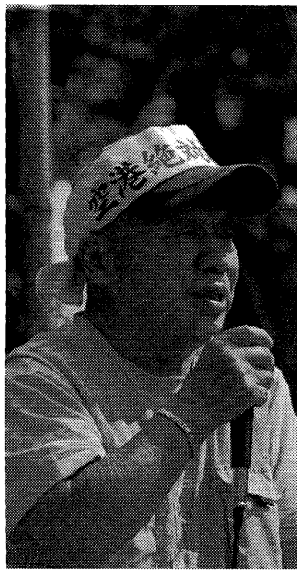
三里塚闘争は今年で五九周年を迎えました。ロシア・ウクライナ戦争やイスラエルによるパレスチナ人民虐殺など、戦争が絶える

てやつていきます。農地は農民の命です。農民を犠牲にする政府の政策は間違っています。福島・沖繩と連帯し、国策と闘う

いろいろな人たちと交流をと感じています。市東さんの天神峰農地への強制執行から二年が経過する中で、南台農地をめぐる耕作権裁判が結審し年度内に判決を迎えようとしています。耕作者の市東さんには無断で買収したうえに、「不法耕作者」といわずに成田空港会社を許すことは出来ません。空港会社には市東さんの農地を奪う権利も正当性もありません。「農地を奪うな」の声で千葉地裁を包囲し、勝利判決をもの取りましょう。

### 農民が農地を守る

事務局員 伊藤信晴さん



新年あけましておめでとございます。農地は命として闘い抜いていく市東さんの闘いは、裁判は結審し、判決は年を越しましたが、日帝の中国侵略戦争に本格的に突入し、生活を守る闘いこそが、農業を守り戦争に反対する農民と労働者の共同の闘いになります。

会社の子供の残り策としての「新しい成田空港」構想であり、金儲けと戦争準備が目的です。空港の拡張で住民を追い出し、農村丸ごと破壊していきます。「エアポートシティ」の名の下、空港周辺が空港の町に作り替えられようとしています。空

気候危機や食糧危機が叫ばれる今、観光や輸入食品頼みでは生きていきません。ましてや戦争なんて愚骨頂です。このような政治と対決するものとして、反対同盟は沖繩のたたかいに連帯し、成田空港の本格的軍事空港化と対決して闘います。市東さんの農地と生活を守る闘いこそが、農業を守り戦争に反対する農民と労働者の共同の闘いになります。しかし、実際は空港

# 二〇二五年階級闘争に決起する

## 委員会、戦線からのアピール

### 25春闘勝利！ 未組織労働者を組織する階級的労働運動を

中央労働運動指導委員会

物価の上昇に賃金が追いついていない状況が続いている。二〇二二年四月から二〇二四年一〇月までの間で、実賃金が前年同月比を上回ったのは二〇二四年の六月・七月の二回だけだ。23春闘、24春闘で、「大幅賃上げ」を実現したと言われているが、その実態は大企業での賃金引上げで、中小企業では賃金引上げが進んでいない。

労働組合の組織率は、賃金労働者・未組織労働者

の賃金引上げで重要な位置を占めている。石破政権は二〇二〇年代に全国平均一五〇〇円を掲げた。最低賃金の全国加重平均は一〇五五円になったが、平均以上は七都府県に過ぎず、一〇〇〇円を超えているのも一六都府県に過ぎない。加重平均ではなく、全国一律最低賃金一五〇〇円以上の早期実現を目指す。経団連は、二四年一月「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」を発表。労働法の規制緩和を狙っている。厚労省は、二〇二四年に「労働基準関係法研究会」を開き、報告書案をまとめた。早ければ二六年に労基法を改悪しようとしている

「沖繩戦・被爆・敗戦八〇年」を迎え 軍事要塞化・前線基地化攻撃を打ち砕く 沖繩解放闘争の勝利へ

日帝一石破自公政権は、年末の二月二八日に大浦湾軟弱地盤「改良」工事着手を強行した。官公庁が年末年始休業に入った翌日、しかも「敷き砂」を投下しただけのアライバイである。一昨年二三年一二月二八日にも岸田自公政権による史上初の新基地設計変更承認「代執行」から一年、沖繩の民意を暴力的に踏みしめる新たな暴挙を徹底弾劾する。

普天間基地の即時閉鎖・撤去、辺野古新基地阻止闘争を全国で闘い抜こう。同時に、日米共同軍事演習「キーン・ソード25」強行にみられた日米軍事一体化攻撃、沖繩・琉球弧の軍事要塞化、前線基地化攻撃とも真っ向から対決し抜こう。「安保三文書」一敵基地攻撃・ミサイル配備の大軍拡は、沖繩だけでなく九州一全国へと拡大し実戦化臨戦化している。民間空港・港湾、公道の軍事使用や、「台湾有事」を煽動して「住民避難計画」や「シェルター建設」での住民動員、戦争動員攻撃を許さない。うるま市での自衛隊訓練場建設計画を断念させた大勝利の地平、人権蹂躪、隠蔽を許さない。「米兵による少女性暴力事件に抗議する県民大会」の大爆発の地平をさらに拡大し、日米軍事同盟・沖繩差別軍事支配下で繰り返されるあらゆる戦争攻撃を石破自公政権もろとも木っ端微塵に打ち砕こう。

「命どう宝」戦争の被害者にも加害者にもならぬ決意に込められた、沖繩人民の自己解放の内実と真闘争に間断なく決起する。沖繩戦・被爆・敗戦八〇年を迎える今年、われわれは、市東さんをはじめとする三里塚反対同盟の空港紛争実

力阻止の闘いがかちりと結合し、反帝実力闘争、アジア人民と連帯したプロレタリア国際主義で沖繩解放闘争に間断なく決起する。沖繩戦・被爆・敗戦八〇年を迎える今年、われわれは、市東さんをはじめとする三里塚反対同盟の空港紛争実

粘り強く取り組まれていく。断固として、狭山第三次再審を勝ち取るために、東京高裁・家令裁判長を大衆的行動の高揚で包囲していく。昨九月二六日、袴田巖さんの再審無罪判決が出た。判決は、捜査機関が衣類の証拠や自白調書などをねつ造したと明言し、検察も社会的世論の高揚と糾弾を受け、上訴を断念。狭山事件、石川一雄さんも、国家権力が部落差別を利用して自白と証拠などをねつ造し、「有罪」に仕立てた。狭山差別裁判を徹底的に大衆的に糾弾していく。袴田さんの次は狭山事件の石川さんだ。石川さんの再審無罪へと動きを強め、大衆的社会的世論の盛り上がりを作っていく。事象を打開していく時代は、日本社会の現実

実態において、格差階級矛盾を強め、戦争・改憲、差別排外主義、弾圧を激化させている。部落民など被差別大衆や被抑圧人民への差別攻撃が激化し、要するに「虐殺」攻撃も激しいのだ。だからこそ、狭山差別糾弾・石川さん無実の再審を要求し、全人民の決起を闘う上で、反差別と反戦・反貧困は固く結合しなければならぬ。労働者解放と部落解放を連関させていくのだ。差別迫害を受ける全ての人びとの反差別共同闘争を拡大するのだ。狭山差別裁判糾弾、石川さんの「見えない手錠」を打ち砕く！再審無罪への動きの広範化にむけて、私たち全連は部落解放運動を支援し、その一翼を担い、若者の組織化、階級的労働運動の狭山闘争課題化を進める。二五年、狭山闘争の決戦的局面に勝利しよう！

**共産主義者同盟 (統一委員会)**  
**綱領・規約集**  
 (2018年改訂版)  
 定価 一部 500円  
 発行 戦旗社

# 規範意識根絶する階級闘争で 障害者解放運動の勝利を

## 侵略反革命と闘う障害者青年同盟

全国的闘争を闘う  
侵略反革命と闘う障害者青年同盟より、年頭アピールを送ります。

昨年二月、赤堀政夫さんが自らの生涯を全うした。赤堀さんは、全国の精神障害者、障害者の先頭に立って無実を訴え続け、一九八九年に無罪を勝ち取った。

「赤堀さんを殺して我々に明日はない」と言う言葉は合言葉に、障害者差別をゆるさない闘いをおこなってきた。

赤堀さんは、自ら先頭になって、障害者差別糾弾闘争を勝利した。我々は、地域で精神障害者のたまり場をみんなで作ったり、交流会を設けたりする中で、障害者が差別

反対の先頭に立つことで勝利しうるのだという地平を、確認してきた。七月三日最高裁は、旧優生保護法を違憲と指摘、「除斥期間」を適用せず、国に賠償を命じる統一判断を示した。

日弁連は声明を発表。その中で「これは戦後最大規模の重大な人権侵害である」とし、強制不妊手術の被害者に対しては、「係属中の全ての訴訟について、原告らとの間で協議を行い、和解による早期の全面的解決を図るべきである。また、旧優生保護法訴訟の原告らだけでなく、全ての被害者について被害回復を実現する必要がある」とも述べている。

# 12・5 東京 春闘勝利に向け 25けんり春闘発足総会開催

二月五日、約七〇名が結集し、全水道会館大会議室で25けんり春闘発足総会が開催された。

まず、「けんり春闘全国実行委員会」の共同代表渡邊全労協議長から開会の挨拶があった。続いて、同実行委員会の関口事務局長が、議案提起を行った。25春闘を取り巻く情勢を明らかにし、「けんり」でも時給一五〇〇円の最低賃金の実現。月額二五万円以上の賃金保障を勝ち取るなど、この議案を今春闘の闘いの方針として全体の拍手で確認した。

第一部は、佐々木亮弁護士が「労基研の議論を問う！労働基準の緩和なんてとんでもなく」と題して講演を行った。

講演では、二〇二四年二月三日から始まったこの「労働基準関係法制研究会」(以下「労基研」)の目的は主に「働き方改革関連法の五年で見直すことに基づき労働基準法等の見直しにあり、二四年中にも「労基研報告」がまとめられ、これを基に労働基準法等の改悪が行われる可能性があることを明らかにした。また、一月二日に公表された「議論のたたき台」への批判と解説が行われた。とりわけ、「法律で定められた規制の原則的な水準について、労使の合意等の一定の手続きの下に、個別の企業、事業所、労働者の実情に合わせて、一定の範囲内で異なる水準の規制を適用する」としている点は、労働基準の緩和を指すものとして警戒しなければならぬと語

「奇跡の海」と呼ばれる上野の豊かな自然と生態系を守り、一〇〇年後の未来に残そう。

今年八月六日広島・八月九日長崎に天皇が来ようとしている。断固、抗議する。第二次世界大戦当時、統帥権を持った天皇が国体護持のために敗戦を遅らせたがゆえに、沖縄戦や各地の空襲、そして広島・長崎への原爆爆撃を引き起こされた。天皇の戦争責任を問う

「奇跡の海」と呼ばれる上野の豊かな自然と生態系を守り、一〇〇年後の未来に残そう。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

東されて、命の選別が行われている。そのことを、自分の意思によるリプロダクティブ・ヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康と権利)を勝ち取る教育によって保障されなければならない。規範意識を根底から根絶やしにする階級闘争の発展なくして、障害者解放運動の勝利はありえない。

二月に亡くなった里中同志の遺志を継ぎ共に闘わん！

救済する」という精神と相容れない。われわれは、被爆二世の原爆被害の現実を突きつける中で、必ずや国家補償に基づく全ての被爆二世の援護を実現する。

「奇跡の海」と呼ばれる上野の豊かな自然と生態系を守り、一〇〇年後の未来に残そう。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

# 11・20 東京 大浦湾埋め立て強行に抗議 キャンペーンを展開

辺野古新基地建設の設計変更を日帝・岸田政権が代執行で承認したこと、海上ヤードの設置のための石材投入、八月二〇日からは大浦湾のくい打ち作業が強化されている。しかも、サンゴを移植せず(移植で死んでいるが)、沖縄「県」との事前確認も打ち切った。この問答無用に突き進む工事

最後、全造船関連地協の宇佐見さんから閉会の挨拶があり、全員で25春闘勝利に向けた「団結頑張ろう」を行い閉会した。

「埋め立ては今どうなっているの? 大浦湾にはどんな生き物がいるの?」と題して、沖縄環境ネットワーク世話人の花輪伸一さん、「建設費用はどこまで膨張するの?」と題して東京新聞デジタル編集部デスクの中沢誠さんがおこなった。

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

# 地域住民の怒りと結びつき 三里塚闘争勝利―日帝打倒

日本反帝戦線三里塚現闘団

全国的闘争仲間のみならず、本年われわれ現闘団は、耕作権裁判闘争勝利、第3滑走路建設粉砕を掲げて、断固として闘いぬく決意です。

「奇跡の海」と呼ばれる上野の豊かな自然と生態系を守り、一〇〇年後の未来に残そう。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

# 統一委員会行動隊 三里塚現地闘争を担い

機動隊数百人を動員した空港会社の強制執行に対し、空港会社と三里塚山連合空港反対同盟と支援勢力が力を張って激突した農地強奪粉砕闘争から間もなく二年が経つ。

「奇跡の海」と呼ばれる上野の豊かな自然と生態系を守り、一〇〇年後の未来に残そう。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

各地の市民団体のリレートーク後の行動提起では、くしくもこの日の朝、新たに宮城島からの土砂搬出が始まり、抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。抗議行動も始まる。

われわれは、新たな侵略戦争を行うための日米韓の核軍事同盟を許さず、日帝・石破政権に核兵器禁止条約に署名及び批准することを強く求める。全

# 沖縄 12・22 「県民大会」に二五〇〇名

## 構造的な軍事性暴力を許さない

二月二日、沖縄市民会館大ホールにおいて、米軍関係者・事故の通報者による抗議と再発防止を求め、官邸・外務省・警察庁は、県女性団体連絡協議会(女団協)が呼びかけた賛同一四八団体による実行委員会である。当日は、ロビーも含め二五〇〇名の沖縄人民が結集した。名護、宮古島、石垣でもサテライト会場が設けられた。

これは、二三年二月二日、沖縄島中部で発生した嘉手納基地所属の米空軍兵長による一六歳未満の少女への誘拐・性暴力事件に抗議するものだが、問題はこの事件が今年六月に公判日程が明らかになったこと、新聞社が問い合わせをしたことにより事実が判明したことだ。今日の普天間基地・辺野古新基地問題に係る発端ともいえる一九九五年米兵による少女性暴力事件で、島ぐるみによる大会館大ホールにおいて、米軍関係者・事故の通報者による抗議と再発防止を求め、官邸・外務省・警察庁は、県女性団体連絡協議会(女団協)が呼びかけた賛同一四八団体による実行委員会である。当日は、ロビーも含め二五〇〇名の沖縄人民が結集した。名護、宮古島、石垣でもサテライト会場が設けられた。



米兵の性暴力事件に抗議し2500人が結集 (12月22日 沖縄市民会館)

主権者あいつの伊良波純子共同代表(女団協会長)は、「常とう句となつた綱紀粛正など通り一遍の対応は、女性の尊厳を踏みにじり、県民を愚弄するものだ」と厳しく日米両政府の対応を糾弾した。玉城デニー知事は、九月の訪米で沖縄の現実を訴えてきたことにより、軍の構造的な責任を問うことを訴えた。集会では一〇月の国連女性差別撤廃委員会から初めて在沖米軍に関する報告が出された報告や、大学生などが登壇発言し、また高校生らのビデオメッセージなどがあり、九五年以来三〇年が経っても変わらぬ現実を変えようとの訴えが続いた。

大会では、「被害者への謝罪とケア、完全補償やプライバシー保護、二次被害防止、事件発生時の速やかな通報、日米地位協定の抜本的改正」を求める決議が採択された。また、カンパロー

# 12・22 東京 相次ぐ米兵の性暴力事件に抗議

## 基地撤去！ 東京行動に400名超

二月二日、寒風吹きすさぶ新宿駅南口に、四〇〇名を超える人々が結集。配られた「モザカロー」の黄色い花やプラカードを手にした参加者が、駅頭を埋めつくした。同日行われた「米兵による少女性暴力事件に抗議する沖縄県民大会」に連帯する東京行動が、「基地・軍隊はいらない4・29集会実行委員会」と「沖縄・一坪



米兵の性暴力事件を弾劾し、沖縄の基地撤去を訴えた (12月22日 新宿駅南口)

反戦地主会関東ブロックの主催で呼びかけられた。労働組合や人権団体など、二五以上の団体がこの行動に賛同の名を連ねた。駅頭集會は、主催団体が「一年前の二月二四日に発生した米兵による少女性暴力事件が半年も隠蔽されてきたこと、その間に防げたはずの性暴力事件が四件も発生していたこと、少女は未だ後遺症に苦しんでいること、二月一三日の那覇地裁判決は、加害米兵

に対し懲役わずか五年であること、70%以上の米軍基地を押し付けられた沖縄の生活はどんなものであるか。私は日本の皆さんに怒りを覚える！」と、関東ブロックの青木初子さんが訴えた。つづいて、沖縄出身の明有希子さんから発言があった。明さんは、「沖縄には『〇〇かもしれない』がとても多い。私が殺されたかもしれない、私がレイプされたかもしれない、強盗にあっ

# 大阪 12・22 朗読・デモ・スタンディングで

## 米兵の性暴力事件に抗議



集会参加者による朗読が行われた (12月22日 大阪・扇町公園)

二月二日、沖縄での事件ごとに交替で参加者が朗読するという取り組みが行われた。この朗読は地の文をそのまま読む、被害者の立場に置き換えて読む、加害者である米兵の立場で読むなど、参加者ごとに工夫が凝らされた。参加者の中には、膨大な事件の中で「数」にされてしまっている被害者一人一人に起きた出来事として捉え直す取り組みだ。朗読するときに、このことを思い出して下さる。『防衛』のために、沖縄の女性は犠牲になっていないのですか？ 私が未だ見ることのない、安全で安心な沖縄を返して下さい！」と訴えた。最後に沖縄県民大会に寄せられた「沖縄高校生平和ゼミナール」の生徒アビルが代読された。被害に遭った少女の同世代として、事件を許さないと思いがつづられ、「日本政府は今すぐ日米地位協定を改定

求めている！」と訴えた。もう一人の二〇代の方は、一九四五年以来米軍が起してきた性暴力事件を、被害に遭った少女の同世代として、事件を許さないと思いがつづられ、「日本政府は今すぐ日米地位協定を改定

思いを待って、梅田の繁華街へ向けてのデモ、若者が行きかう日EPナビオ前でのスタンディングアピールが取り組まれた。参加者は八〇名。この取り組みで共有した

### 11・23 大阪・神戸 沖縄を再び戦場にさせない

### 関西でスタンディング

- 二月二日、関西では神戸・大阪あわせて七箇所で行われた。この朗読は地の文をそのまま読む、被害者の立場に置き換えて読む、加害者である米兵の立場で読むなど、参加者ごとに工夫が凝らされた。参加者の中には、膨大な事件の中で「数」にされてしまっている被害者一人一人に起きた出来事として捉え直す取り組みだ。朗読するときに、このことを思い出して下さる。『防衛』のために、沖縄の女性は犠牲になっていないのですか？ 私が未だ見ることのない、安全で安心な沖縄を返して下さい！」と訴えた。最後に沖縄県民大会に寄せられた「沖縄高校生平和ゼミナール」の生徒アビルが代読された。被害に遭った少女の同世代として、事件を許さないと思いがつづられ、「日本政府は今すぐ日米地位協定を改定

求めている！」と訴えた。もう一人の二〇代の方は、一九四五年以来米軍が起してきた性暴力事件を、被害に遭った少女の同世代として、事件を許さないと思いがつづられ、「日本政府は今すぐ日米地位協定を改定